2nd NAGOYA CLASSIC TOUR 2013

■第2回 名古屋クラシックツアー

text&photo:Kenji NAKAMOTO(中本健二)

お気楽クラシックカーツアー

前回と同じく9月に開催された1デイの公道ラリーイベント"名古屋クラシックツアー"が開催された。左ページで紹介している"ノリタケの森クラシックカーフェスティバル"の翌日、しかも集合場所がノリタケの森駐車場ということで、2日連続でエントリーという参加者は多かったようだ。

集合場所から日本の3大繊維問屋街として有名な長者町へと移動すると、そこから約230㎞のツアーが始まる。なんとサイプライブゲストとしてスタートチェッカーを振るのは川村たかし名古屋市長。これには参加者も驚かされたようだ。出発した一行は伊良湖港－師崎港間の特別貸切便に乗船して、1時間ほどの船旅や2か所のPC競技を楽しみ、その後長島のなばなの里でゴールを迎えた。

次回は12月に2デイのヒストリックカーミーティングin伊勢志摩が開催予定されている。

伊良湖港－師崎港間の特別貸切フェリーを埋め尽くすヒストリックカーたち。参加者たちは移動の間隙の間の休息とランチ、そして船旅を楽しむ。

ノリタケの森の集合場所からスタート会場の長者町までは、サイドカーやモーガン3ホイラーが先導車を担当。こういうちょっとした演出もこのイベントの特徴だ。

初参加という加藤さん夫妻は、1971年式アルファロメオ2000ベルリーナでイベントを楽しむ。途中、初参加のお約束？ルート間違いを経験したものの楽しい1日となったそうだ。ベルリーナを探していた際に、馴染みのショップで出会い購入したとのこと。

左上から時計周りに、川村名古屋市長の合図でスタートを切る1954年式オースティンヒーレー100、1953年式オースティンヒーレー100、さらに1966年式のオースティンヒーレー3000が続く。ゴール会場となったなばなの里へ到着した参加者たち。この後表彰式が行われ解散となった。1985年式ランボルギーニ・ジャルパといったレアなスーパーカーもツアーを満喫。1957年式アルファロメオ・ジュリエッタ・スパイダーでPC競技に臨むのは見事優勝を遂げた磯部&野村ペア。

名古屋クラシックツアーでは定番となりつつある、フェリーを貸し切った航路。フェリーからヒストリックカー、スーパーカーが隊列を組んで出てくるシーンを見ることが出来るのはこのイベントだけ。フェリー内では三河湾クルーズランチを堪能する。

EVENT DATA

ジャンル:公道ラリー
エントリー車両:2000年までに生産されたスポーツカー
開催日:2013年9月21日
開催地:名古屋-三河湾-知多半島
■問い合わせ:ヒストリックカーミーティング実行委員会
URL:http://historiccarmeeting.com/

Report Memo

ヒストリックカーに加えて、高年式のスーパーカーが参加可能で、公道ラリー初参加といったエントラントは多い。コースはシンプルな構成となっているため、風光明媚なポイントを見ながら初心者でも気軽にイベントへ参加して楽しむことが出来る。

Car Mag's Pick Up

歴代ジャガー勢ぞろい

今回、圧倒的多数を占めていたメイクスがジャガーだ。なんとSS100が2台!、Eタイプは Sr.1のロードスターが3台、Sr.2ロードスター1台、Sr.3はクーペとロードスターが各1台の計6台が集結。さらにXK150、ダイムラー・ソブリン・クーペ、そして最新モデルのFタイプも揃った。

1967年式のジャガーEタイプで参加の三野正樹さん、千秋さんペア。最初は出展者としてこのイベントに協力していたそうだが、ヒストリックカーで楽しむ参加者の姿に興味を持ちジャガーEタイプを購入して今はエントラントとして楽しんでいる。